



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月12日

上場会社名 株式会社グルメ杵屋
コード番号 9850 URL <https://www.gourmet-kineya-hd.co.jp>
代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 椋本 充士
問合せ先責任者 (役職名) 経理・グループ統括室担当執行役員 (氏名) 井坂 匡伸 TEL 06-6683-1222
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	9,899	△5.4	△387	—	△352	—	△327	—
2026年3月期第1四半期	10,461	7.4	△106	—	△82	—	△141	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 △296百万円（－％） 2026年3月期第1四半期 △155百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△14.31	—
2026年3月期第1四半期	△6.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	45,291	9,091	19.6	387.75
2026年3月期	30,946	9,547	30.2	408.54

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 8,869百万円 2026年3月期 9,344百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	44,700	1.4	760	45.1	660	15.1	260	11.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 株式会社G Kビジネスサポート、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	22,910,275株	2026年3月期	22,910,275株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	36,250株	2026年3月期	36,250株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	22,874,025株	2026年3月期1Q	22,874,025株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これからの予測数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や賃金の上昇等を背景に所得環境の改善が継続し、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、米国の政策動向、円安傾向が続く為替相場、地政学的リスクに起因するエネルギー資源や原材料価格などの高騰もあり、依然として先行きは不透明な状況となっております。

外食産業におきましては、原材料の価格高騰、光熱費、建築費等様々なコストの上昇、人手不足に伴う人件費の増加が継続しており、事業を取り巻く経営環境は依然として厳しいものとなっております。

このような状況の中、当社グループは、中期経営計画「GK2030」に掲げる「おもてなしで付加価値の創造を紡ぐ」をグループビジョンとし、将来にわたり持続的に成長する企業グループを目指しております。その実現に向け、グループ一丸となって事業収益の最大化を図るため、戦略の構築・実行を徹底するとともに、企業風土の変革に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高98億99百万円（前年同期比5.4%減）、営業損失3億87百万円（前年同期は営業損失1億6百万円）、経常損失3億52百万円（前年同期は経常損失82百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失3億27百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億41百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

なお、前第3四半期連結累計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較においては、前年同期の数値を変更後の報告セグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。詳細は、「2. 連結財務諸表及び主な注記（セグメント情報等の注記）」に記載のとおりであります。

(レストラン事業)

レストラン事業においては、客数回復および収益力向上を重点方針として、テレビCMの放送による認知度向上に加え、各種キャンペーンの実施や季節メニューの導入など、集客強化に取り組んでまいりました。しかしながら、大雨や台風等の悪天候の影響を受け、来店客数が伸び悩み、減収減益となりました。

店舗の退出店等につきましては、新店はそば部門の「二尺五寸」1店舗、退店は4店舗であります。この結果、当第1四半期連結会計期間末におけるレストラン事業の店舗数は、34都道府県に356店舗（フランチャイズ店舗83店舗を含む）となりました。

以上の結果、レストラン事業の売上高は60億5百万円（前年同期比3.3%減）、セグメント損失33百万円（前年同期は18百万円の損失）となりました。

(ODM・OEM事業)

冷凍おせち及び冷凍宅配弁当等の製造や関西国際空港の機内食などを担うODM・OEM事業においては、委託元各社からの需要の増加を見越した生産体制の改善と更なる効率化に取り組んでまいりました。当第1四半期連結累計期間におきましては、機内食において中国便及び中東便の搭載食数が減少したことから減収減益となりました。

以上の結果、ODM・OEM事業の売上高は27億98百万円（前年同期比13.0%減）、セグメント損失72百万円（前年同期は1億20百万円の利益）となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業においては、大阪木津卸売市場の入居率は堅調に推移しましたが、各種コストの増加により増収減益となりました。

以上の結果、不動産賃貸事業の売上高は1億72百万円（前年同期比1.7%増）、セグメント利益20百万円（前年同期比9.0%減）となりました。

(運輸事業)

水間鉄道(株)においては、運賃改定及び各種イベント実施等の効果により旅客運賃収益が増加しましたが、各種コストの増加により増収減益となりました。

以上の結果、運輸事業の売上高は1億24百万円（前年同期比5.7%増）、セグメント損失7百万円（前年同期は4百万円の損失）となりました。

(その他)

大阪木津卸売市場で展開しております水産物卸売事業は、魚介の卸売数量が減少しましたが、コストコントロールの効果が及び減収増益、日本食糧卸(株)で展開しております米穀卸売事業は、精米及び炊飯の販売数量が大幅に増加したことにより増収増益、又その他の事業において各種コストが増加したことから、その他は増収減益となりました。

以上の結果、その他の売上高は7億98百万円（前年同期比6.9%増）、セグメント利益19百万円（前年同期比19.9%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は87億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億27百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金6億4百万円の減少、商品及び製品3億74百万円の増加によるものであります。固定資産は364億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ145億72百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券145億52百万円の増加によるものであります。

この結果、総資産は、452億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ143億44百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は242億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ155億6百万円増加いたしました。これは主に短期借入金156億円の増加によるものであります。固定負債は119億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億5百万円減少いたしました。これは主に長期借入金6億96百万円の減少によるものであります。

この結果、負債合計は、362億円となり、前連結会計年度末に比べ148億円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は90億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億56百万円減少いたしました。これは主に配当金の支払い1億60百万円及び親会社株主に帰属する四半期純損失3億27百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は19.6%（前連結会計年度末は30.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年5月13日に発表いたしました連結業績予想の数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,727,656	4,122,827
預け金	404,243	345,124
売掛金	2,418,304	2,371,879
商品及び製品	318,959	693,629
原材料及び貯蔵品	547,207	615,977
短期貸付金	120,467	38,168
未収入金	213,388	123,294
未収消費税等	103,846	104,041
その他	227,086	438,579
貸倒引当金	△56,264	△56,182
流動資産合計	9,024,895	8,797,341
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,102,734	29,251,340
減価償却累計額	△22,355,974	△22,415,150
建物及び構築物（純額）	6,746,760	6,836,190
機械装置及び運搬具	3,743,078	3,736,939
減価償却累計額	△2,753,887	△2,787,991
機械装置及び運搬具（純額）	989,190	948,948
工具、器具及び備品	2,115,731	2,164,726
減価償却累計額	△1,662,314	△1,678,441
工具、器具及び備品（純額）	453,417	486,284
土地	7,726,211	7,726,211
建設仮勘定	35,188	30,554
有形固定資産合計	15,950,767	16,028,189
無形固定資産		
のれん	95,686	84,204
その他	105,638	110,044
無形固定資産合計	201,325	194,248
投資その他の資産		
投資有価証券	993,372	15,545,521
長期貸付金	114,359	59,647
差入保証金	4,224,618	4,233,085
繰延税金資産	382,421	382,522
その他	74,665	70,505
貸倒引当金	△19,476	△19,476
投資その他の資産合計	5,769,961	20,271,806
固定資産合計	21,922,054	36,494,243
資産合計	30,946,950	45,291,585

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,378,760	1,585,638
短期借入金	2,100,000	17,700,000
1年内返済予定の長期借入金	2,301,670	2,065,376
未払金	574,073	351,074
未払費用	1,498,772	1,599,255
未払法人税等	84,749	25,044
未払消費税等	179,794	271,697
賞与引当金	166,123	102,702
資産除去債務	49,092	49,115
その他	418,907	508,455
流動負債合計	8,751,946	24,258,360
固定負債		
長期借入金	8,935,755	8,239,689
繰延税金負債	1,026,472	1,026,109
退職給付に係る負債	83,939	82,317
資産除去債務	1,861,497	1,855,672
その他	740,008	738,302
固定負債合計	12,647,673	11,942,090
負債合計	21,399,619	36,200,451
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	8,345,288	8,345,288
利益剰余金	759,247	273,961
自己株式	△35,493	△35,493
株主資本合計	9,169,042	8,683,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	90,022	87,734
為替換算調整勘定	82,828	95,088
退職給付に係る調整累計額	3,009	2,815
その他の包括利益累計額合計	175,859	185,638
非支配株主持分	202,427	221,739
純資産合計	9,547,330	9,091,133
負債純資産合計	30,946,950	45,291,585

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	10,461,266	9,899,616
売上原価	6,860,038	6,528,663
売上総利益	3,601,227	3,370,952
販売費及び一般管理費	3,707,377	3,758,383
営業損失(△)	△106,150	△387,431
営業外収益		
受取利息	4,478	1,811
受取配当金	22,786	34,149
賃貸料収入	44,313	46,425
持分法による投資利益	-	29,307
その他	18,535	13,547
営業外収益合計	90,114	125,242
営業外費用		
支払利息	44,579	60,768
借入手数料	1,000	1,200
賃貸費用	20,721	27,203
その他	92	932
営業外費用合計	66,392	90,104
経常損失(△)	△82,428	△352,293
特別利益		
固定資産売却益	409	3,484
保険差益	27,211	-
特別利益合計	27,620	3,484
特別損失		
固定資産除却損	22,530	2,489
減損損失	-	4,252
その他	9,018	-
特別損失合計	31,548	6,741
税金等調整前四半期純損失(△)	△86,357	△355,550
法人税等	55,347	△41,690
四半期純損失(△)	△141,704	△313,859
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△97	13,391
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△141,607	△327,251

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純損失(△)	△141,704	△313,859
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,638	△1,340
為替換算調整勘定	△168	18,375
退職給付に係る調整額	△34	△194
持分法適用会社に対する持分相当額	—	132
その他の包括利益合計	△13,841	16,973
四半期包括利益	△155,546	△296,885
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△149,364	△316,128
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,181	19,242

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	250,618千円	255,251千円
のれんの償却額	11,482千円	11,482千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	ODM・ OEM事業	不動産 賃貸事業	運輸事業	計				
売上高									
一時点で移転される財	6,209,306	3,217,830	—	67,255	9,494,393	732,561	10,226,954	—	10,226,954
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	50,199	50,199	14,444	64,643	—	64,643
顧客との契約から生じる収益	6,209,306	3,217,830	—	117,455	9,544,592	747,005	10,291,598	—	10,291,598
その他の収益 (注) 4	—	—	169,668	—	169,668	—	169,668	—	169,668
外部顧客に対する売上高	6,209,306	3,217,830	169,668	117,455	9,714,260	747,005	10,461,266	—	10,461,266
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	46,264	—	8,452	54,717	170,706	225,424	△225,424	—
計	6,209,306	3,264,095	169,668	125,907	9,768,977	917,712	10,686,690	△225,424	10,461,266
セグメント利益又は損失(△)	△18,979	120,089	22,944	△4,293	119,761	23,968	143,729	△249,879	△106,150

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業及び米穀卸売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△249,879千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2026年4月1日 至2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	ODM・ OEM事業	不動産 賃貸事業	運輸事業	計				
売上高									
一時点で移転される財	6,005,572	2,798,741	—	68,840	8,873,154	780,886	9,654,040	—	9,654,040
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	55,340	55,340	17,640	72,980	—	72,980
顧客との契約から生じる収益	6,005,572	2,798,741	—	124,180	8,928,494	798,526	9,727,020	—	9,727,020
その他の収益 (注) 4	—	—	172,595	—	172,595	—	172,595	—	172,595
外部顧客に対する売上高	6,005,572	2,798,741	172,595	124,180	9,101,089	798,526	9,899,616	—	9,899,616
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	38,487	607	8,424	47,519	243,547	291,066	△291,066	—
計	6,005,572	2,837,229	173,202	132,604	9,148,609	1,042,073	10,190,682	△291,066	9,899,616
セグメント利益又は損失 (△)	△33,440	△72,500	20,878	△7,842	△92,905	19,193	△73,711	△313,719	△387,431

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業及び米穀卸売事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△313,719千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結累計期間より、経営管理体制の見直しに伴い、「機内食事業」及び「業務用冷凍食品製造事業」の2つに区分していた報告セグメントを統合し、「ODM・OEM事業」としております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報においても変更後の方法に基づき作成したものを開示しております。